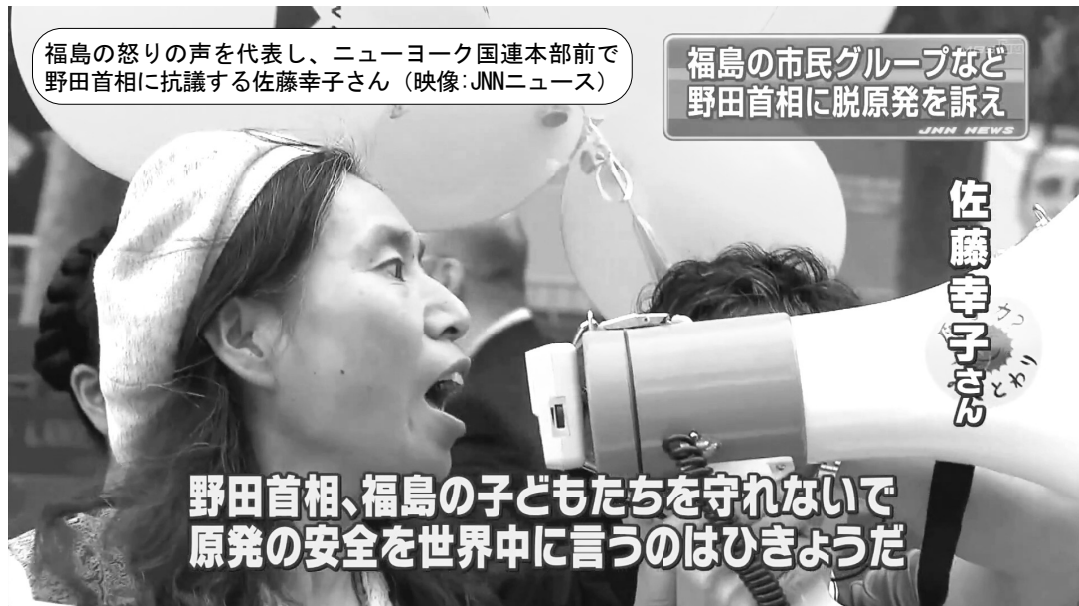


福島に怒りと想いを一つに

10・6 法大デモへ



福島の怒りの声を代表し、ニューヨーク国連本部前で野田首相に抗議する佐藤幸子さん（映像：JNNニュース）

福島の市民グループなど野田首相に脱原発を訴え

佐藤幸子さん

野田首相、福島の子供たちを守れないで
原発の安全を世界中に言うのはひきようだ



国連で原発推進を表明した野田（22日読売新聞朝刊）

●野田の国連演説に福島から怒り爆発

9月19日、国内の反原発デモとしては史上最大となる6万人もの人々が明治公園に結集し、都心を席卷する大デモを敢行しました。「怒 福島隊」と書かれたのぼり旗を手を駆けつけた福島県民およそ1000人の大行列が、文字通り怒りのデモで全体を牽引しました。今やこの福島の怒りは日本中の人々に伝わり、全国の職場・地域・学園で反原発の行動がますます広がっています。

ところが、菅政権に代わって登場した野田新政権は、圧倒的多数の反原発の声に反し、22日の国連会合の場で「福島を教訓に原発の安全性を世界最高水準に高める」「原発輸出を進める」などと演説し、国内の停止中原発の再稼働と新規原発建設を宣言しました。国内外で湧き起こる「原発なくせ！」の声を無視する暴挙を、絶対に許すことはできません！ この日、ニューヨーク国連本部前では、福島の声を代表する佐藤幸子さん（右コラム参照）を先頭に、日米共同の抗議行動が行われました。

野田は「福島事故を教訓に…」などと言うが、現在もなお事故収束のメドは立たず（事故の原因さえ明らかになっていない！）、放射能の流出は続き、さらなる水蒸

福島の怒り!!

佐藤幸子さん（子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク世話人）

「去年と何も変わっていない美しい福島の風景の中に、確実に放射能は存在しています。3月11日を境にして一変してしまいました。農民が農地を捨てなければいけないこのつらさが、皆さんにお分かりになるでしょうか。安全な原発は一つもないのだということを学んで下さい。」

子供達の命のことを思えば今やらなければならぬことは自ずと分かるはずです」「野田首相、福島の子供達を守れないで原発の安全を世界中に言うなんて卑怯だ！」

（22日、ニューヨーク市で行われた反原発集会での発言）



気爆発や再臨界さえ危惧されている状況で、いったい何を言っているのか。多くの子どもたちが被曝し、家や仕事を失った多くの住民がいまだに避難所生活を強いられているというのに、何が「原発輸出」か！

全学連

全日本学生自治会総連合（斎藤郁真委員長）

TEL 050-3036-6464 mail_cn001@zengakuren.jp http://www.zengakuren.jp/

●福島と連帯し、学生こそ声を上げよう！

野田は、原発再稼働に向けてインチキでアリバイ的な「ストレステスト」を実施し（右記事、東京新聞9/21）、それと表裏一体で福島の訴えを無視抹殺する棄民政策をとっています。

こうした野田政権の手先となっているのが、「100³SV以下なら全く健康に影響ない」「放射能の影響はニコニコ笑っている人には来ません」と大ウソをつく山下俊一（長崎大学）などの御用学者たちです。そして法政大学では、反原発を訴える学生に処分、盗撮、尾行などが行われている。こんな腐りきった大学・教育のあり方こそ、原発を許してきた温床に他なりません。この目の前の現実に対し、学生が怒りの声を上げ、立ち上がることが求められています。

10月6日正午、「原発反対！弾圧職員追放！福島連帯」を掲げる後期第一弾・法大包围デモへ、法大生のみなさんに結集を呼びかけます！



今年4月22日の法大包围・反原発デモ

原発ストレステスト

酷暑の下、節電に力を合わせ、6万人規模の脱原発集会も成功した。それでも、政府と電力各社は着々と原発再稼働への準備を進めている。その手順で重視されているのが、ストレステスト（耐性評価）

と国際原子力機関（IAEA）による再評価だ。実効性がありそうに聞こえるが、下地になるべき福島原発事故の原因すら判明していない。「アリバイづくり」という酷評も聞こえる。（小倉貞俊、上田千秋）

再稼働へ「アリバイ」

「結果 どうにでもできる」

野田佳彦首相は二十二日、国際社会に事実上の「再稼働宣言」をする。国連本部で開かれる「原発の安全性と核の安全保障に関するハイレベル会合」で「安全でより信頼性の高い原子力エネルギーの確保は引き続き必要だ」と訴える予定だ。

全国五十四基の原発のうち、現在稼働しているのは十一基。政府は停止中の原発の再稼働に向けて、二次にわたるストレステストを実施し、その結果を原子力安全・保安院が評価し、原子力安全委員会が確認するという手順を打ち出している。

最終的には地元自治体の同意が必要だが、すでに定期検査中の原発十五基が一次評価に入ったとみられ、一部は年内の再稼働を目指している。

まずストレステストとはどういうものなのか。これは実際に原発に衝撃を加えるのではなく、コンピュータ上でシミュレートする方法だ。

九月から柏崎刈羽原発を対象に実施。二次評価（保安院）だといふ。一方、専門家の間では「地震の揺れや津波の（新潟県）で同テストを始めた東京電力は、地震した上で、建設中の三基と津波が炉心損傷をもたせ、再稼働を目指すというシナリオを約六十種類想定。揺れや津波に耐えるための材料」結果は見えている」とい

九月から柏崎刈羽原発を対象に実施。二次評価（保安院）だといふ。一方、専門家の間では「地震の揺れや津波の（新潟県）で同テストを始めた東京電力は、地震した上で、建設中の三基と津波が炉心損傷をもたせ、再稼働を目指すというシナリオを約六十種類想定。揺れや津波に耐えるための材料」結果は見えている」とい

九月から柏崎刈羽原発を対象に実施。二次評価（保安院）だといふ。一方、専門家の間では「地震の揺れや津波の（新潟県）で同テストを始めた東京電力は、地震した上で、建設中の三基と津波が炉心損傷をもたせ、再稼働を目指すというシナリオを約六十種類想定。揺れや津波に耐えるための材料」結果は見えている」とい

ストレステストの概要

平成23年9月8日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

評価手法の概要（津波0.1m）

燃料損傷1	設計基準津波に対して0.1mの余
燃料損傷2	設計基準津波に対して0.1mの余
燃料損傷m	設計基準津波に対して0.1mの余
燃料損傷n	設計基準津波に対して0.1mの余

津波強度が最小の燃料損傷に至るシナリオを抽出
燃料損傷に至る最小の津波強度を抽出

専門家、お手盛り批判

「結果は見えている」とい

10月は「福島連帯月間」です。全国のキャンパスで フクシマとつながる反原発行動を起こそう！

- ◆10月21日（金）、福島大に全国から学生が集まり、福島大生とともに「原発反対！御用教授追放！」の行動を起こします。全学連は10・21へ、全国キャンパスでの連帯行動を呼びかけています。
- ◆法政大学では10月6日（金）昼休みに、後期第1波法大包围デモをやりま。みんな集まろう！

→次は11月6日（日）正午、日比谷野外音楽堂だ！

反原発×反失業！全国労働者集会

すべての原発を停止・廃炉に！ 新自由主義と闘う労働組合のネットワークを！ 解雇撤回－非正規職撤廃！

●呼びかけ●全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部／全国金属機械労働組合港合同／国鉄千葉動力車労働組合 http://www.geocities.jp/nov_rally/

